

の竣工は2月が予定さ

スとJRの「幌」駅まで国道36号にカーでの移立地となっらに、小中圏内なのはイオンモーターやビッグハウス、土屋ホーム日本ハウスホールディングス、ミサワホーム北海道、ミライホームの計9社。販売価格は、899万9000円～1141万7000円。

ウズ

防対策を徹底し住まいの参観日」を開催

ス札幌支店と8日の2日、マスク毒などの感毒を徹底したの住まいの札幌市内3

会場で開催した。今回会場となったのは、「シナの家」(札幌市手稲区曙3条2丁目)、「家族の豊かな時間を紡ぐ家」(同中央区南23条西10丁目北海道

必要

分割や合額の費用見ればそ先に発展

くされたとは思えない。本当に地域の将来を考えているのであれば、もう少し時間をかけて検討を進めていくのが筋で、その上で地域住民に可否を問うということをしてよいのではないだろうか。

では、先蘭越町の受け入れ

ただ、こうした動きが出てくるのも、札幌と札幌圏のみが勝ち組という北海道の現状が生んだ、八方ふさがりの町村の本音の部分として、一方的に非難することとはできないかもしれない。その意味では、北海道も大ナタを振った改革が必要な時期に来ているのではないか。



マイホームセンタース山鼻会場内イズロイエ札幌山鼻展示場II写真)、「都市型3階建ての家」(同豊平区豊平1

条10丁目北海道マイホームセンタース山鼻会場内展示場)の3会場。各会場では、同社オリジナルの最高級外壁材「ダインコンクリート」や陶版外壁「ベルバーン」、暮らしの可能性が自由に広がるフ

日本グランデ

土屋ホーム不動産と共同販売で首都圏に進出「グランファール本厚木レジエンドスクエア」

「グランファール」円山公園南コートハウス「グランファール」札幌山鼻レガリア」などの分譲マンション「グランファールレシリース」を札幌市内で販売している日本グランデが、首都圏に進出する。その第一弾は同社と土屋ホーム不動産との共同事業マンションプロジェクトによる「グランファール本厚木レジエンドスクエア」(神奈川県厚木市)で、両社はこれまでも札幌市内で共同事業による分譲マンションを手掛けている。

「グランファール本厚木レジエンドスクエア」は、鉄筋コンクリート造、地上10階建てで総戸数は41戸。間取りは1LDKと4LDKの構成となる。11月上旬には着工し2022年1月の完成を目指す。同社のマンションは、スマートフォンやICカード、ノンタッチキーを利用した非接触電子錠や、「炭パワークリーンシステム」などの室内空間の清浄など、コロナ禍においてメリットを發揮できる仕様が特長となっている。同社は、2007年に東京支店を開設しており、満を持しての首都圏進出となる。